

の先生が語る！

子どもの好奇心を 育むコツとは？

「わが子には好奇心豊かな人になってほしい」と願っていても、具体的にどう関わればよいのか悩んでしまうことはありませんか？
永年保育・教育に携わっている先生方に、子どもと接するうえで実践しているコツを語っていただきました。

好奇心を育むために
望ましい環境とは

蓮田 保育園は、家庭より長い時間を過ごすこともある「生活の場」ですから、まずはお子さまが安心して過ごせることが大切です。同時に、「社会への第一歩を踏み出す場」としての役割も重視しています。お友だちと接する中で、「自分とは違う考え方や個性をもつ人がいる」と気づ

き、子ども同士が刺激あうことが成長につながると考えています。

降旗 幼児教室ドラキッズでは、お子さまが「来ることが楽しい」と思える場所であることを第一に考えています。集団ならではの『あそび』の中でたくさんのお子さまが「楽しい」と思えるものを発見し、『まなび』へとつなげていけるようなプログラムを組んでいるのが特長です。

大木 イーコラボは英語教室ですが、言葉を習得するにはやはりお子さまがリラックスして話ができる環境をつくることが大切です。そして、学びの場でもありますから、「どのように接すればいいかにお子さまが自信をもって英語を使えるようになるか」という視点から講師が働きかけていくことが多いですね。

降旗 教室も保育園も共通しているのは、お子さまにとって「小さな社会」であるということですね。おうちの方とお子さまという関係から一歩外に踏み出してみることで、「お子さまの好奇心が芽生えていく場」とでもいうのでしょうか。

大木 確かにその通りですね。

一人ずつの個性を見極め
伸ばしていくために

降旗 ドラキッズでは、お子さまの好奇心を引き出すためにさまざまな小道具を準備しています。私たちがその小道具を使つてやってみせたことに對して、お子さま自身から「やってみたい！」という反応が返ってくる、講師としては確かな手ごたえを感じます。その際に心がけ

ているのは、講師の側から押しつけるのではなく、あくまでも主体はお子さまで、それぞれのお子さま自身の興味を引き出していくということです。

蓮田 その点は保育園も同じですね。私たちの園では、ふだんの生活を通じて全般的な学びを深めていく「楽習保育」に取り組んでいます。幼児クラスであれば、文字や数のワークに取り組むのが好きというお子さまもいれば、乳児クラスの小さな子のお世話をするのが好きなお子さまもいるというように、何に興味をもつかは一人ひとり違います。表情や行動を細かく観察することで、それぞれのお子さまが何をやりたいと思っているのかに早く気づきたいという気持ちには常にありますね。

降旗 とくに幼児期は、得意なことを伸ばしていきたいですね。何かひとつ得意なことが見つかる、その他のことにも自信をもって取り組めるようになりますから。ドラキッズでは、講師が「○○ちゃんはこれが得意だよ」と声をかけることで、お子さま自身がそれまで意識していなかった自分の得意なこと、気づきつけかけをつくるように

さまざまな
体験が成長への
糧になります

小学館
アカデミー保育園

はす だじゅん こ
蓮田淳子先生

東京都の認可保育所「小学館アカデミー茗荷谷保育園」園長。「あったかい心をもつ子どもに育てる」を理念とし、20年の保育士経験を活かした子どもに寄り添う保育を行っている。

お子さまの
がんばりを認める
声かけが大切です

幼児教室
ドラキッズ

ふり はたとし え
降旗敏江先生

幼児教室「ドラキッズ」ダイエー西台店教室講師。講師歴20年以上のベテランで、講師向けの研修も担当しつつ、1歳児から小学3年生までの各クラスを受け持っている。

おうちの方も
一緒に学ぶ姿勢が
お子さまの励みに！

英語教室
イーコラボ

おお き み き
大木美希先生

英語教室「イーコラボ」トビレック南砂町スクールの講師。講師歴12年目となる現在は、英語コースのレッスンを担当するとともに、教材の制作や講師の育成にも携わっている。

しています。

大木 イーコラボでも、ストーリーに登場する人物になりきって演じることが好きなお子さまもいれば、英語の歌が好きなお子さま、アルファベットの形に興味をもつお子さまもいるというように、それぞれ興味の対象は違います。ですから、さまざまな角度から英語にアプローチできるようにすることが、どのお子さまも「自分はこれが得意」「もつとやりたい」と思えるように心がけています。

蓮田 興味をもつタイミングを見極めることも大切ですね。大人でもそうですが、好きなことでも、その日の体調や気分によつては「やりたくない」というときだってある。そんなときは、「じゃあ、今日は無理しなくていいよ」と見守ることも必要だと思います。

降旗 そうですね。ドラキッズでも、教室が始まってしばらくは様子を見ている感じだったお子さまが、活動をしていく中で自分から輪に加わってくるということはよくあります。それぞれのお子さまのペースを尊重して、少し待ってみることも大切ですね。

得意なことに目を向けて



み聞かせする「ストーリーテリング」を取り入れています。お話自体は知っているので安心感がありながらも、英語として初めて

大木 イーコラボでは、お子さまがよく知っている物語を英語で読

好奇心を引き出すための
具体的な取り組みとは

にしたいと考えています。

降旗 ドラキッズでは、DVDや絵カードなども用いつつ、まずは講師が実際にやってみせることで、お子さまに「なんだろう？」と興味をもってもらうステップを大切にしています。教室の壁には季節に合わせた絵カードを貼り、ゲームの中にも言葉や数合わせなどの要素を取り入れています。



園や教室でおうちの方に
伝えていること



ぜひ「英語で」学ぶ体験を！

蓮田 保育園では、「家ではちゃんと座って食べられない」「箸を使おうとしない」と

いった食事についてのご相談を受けることが多くあります。でも、そういうお子さまも、園でみんなと一緒に食べるときは、ちゃんと食べていることがほとんどなんです

よ。園でがんばっている分、おうちでは甘えたい気持ちが出るのでしょね。園でのお子さまのがんばりを伝えながら、「大人になっても遊び食べをしている人はいないから大丈夫ですよ」と、おうちの方の気持ちをほぐすような声かけを心がけています。

降旗 幼児期は個人差が大きい時期で、同じクラスでも4月生まれと3月生まれのお子さままでは発達段階に大きな違いがあり

ます。おうちの方はどうしても、わが子のできないところに目がいきがちですが、どのお子さまにもよいところがあり、それぞれのペースでの成長が見られます。ですから、おうちの方がお迎えにいらしたときには、お子さまの前で「今日はこんなことをがんばったんですよ」とほめるようにしています。幼児の発達は生活の場面と密接なつながりがあるので、例えばお風呂でいきなり20まで数えるのを目標にするのではなく、まずはうまで数えられたら、そのがんばりを認めてほめてあげましょう。「できていること」に目を向けることをお勧めしたいです。

大木 英語の場合、週に1回の教室だけでは、お子さまが英語に親しみ使う機会が少なくなってしまうので、イーコラボでは「週7英語」のご提案をして、おうちでもできるだけ英語に触れていただくようお願いしています。でも、それは決して難しいことではなく、「Good morning!」「Good night!」と挨拶をしたり、親子で一緒に教材のCDを聴いたりするといったことから始めることで十分に

す。海外ロケをしているテレビ番組を見て、ご家庭で外国のことを話題にしてみるのもいいですね。おうちの方も一緒に英語を学ぼうという姿勢でいていただくと、お子さまの学習にもプラスになります。

蓮田 保育園の場合、お母さまがお仕事をしていることで「子どもとしっかり関わっていないのでは」と不安をもたれるケースが多いようです。でも、お子さまがおうちの方の愛情を感じるのは、休日に遠出するといった特別なことではなく、毎日の生活の中で園での出来事について話したり、短い時間でも一緒に遊んだりといった、何げないことなんです。こういう日常の場面に関わるおうちの方から受ける影響というのは、やはり大きいですよ。

大木 私たちはお子さまの好奇心を引き出すきっかけを用意することはできますが、おうちの方に代わる存在になることはできません。ですから、おうちの方に「教室の先生と一緒に子どもを育てていく」という仲間意識をもっていただけのように、おうちの方とのコミュニケーションも大切

知る表現もあり、段階を踏んで1ステップずつ力を伸ばしていける構成になっているのが特色です。算数や理科にまつわる教科横断的な要素も取り入れ、英語「ではなく英語」で「学ぶ」ことにより、お子さまの好奇心を育んでいくことをめざしています。

蓮田 保育園では、できるだけ多くの体験をすることを重視しています。遠足でバスや電車に乗ってお出かけするといった行事はもちろん、日々のお散歩で公園の草花や池にいる生きものをみんなで一緒に見ることも、子どもにとっては大切な体験です。月に1回は食育のプログラムも実施していて、乳児クラスなら白菜やこんにゃくなどをちぎり、その日の給食でおいしくいただいています。幼児クラスでは、ピザやクッキーを作ったり、トマトを育ててそれをジャムにしたりと、より多様な体験へと発展させていきます。「見たことある！」「やったことある！」という体験が多いと、小学校入学に向けた自信にもつながっていくように思います。

大木 小学校では英語の授業も始まっていますから、「イーコラ

ボに通っていたおかげで英語の授業でもしつかり発言できた」というお話を伺ったときは、やりがいを感じます。英語に触れるというのと自体が、お子さまにとつては貴重な体験のひとつとなるはずですから、自信をもつきっかけになるのではないのでしょうか。

降旗 入園前の1〜3歳児についても、体験が大切だというのは同感です。ドラキッズの「はじめてクラス」には、粘土やクレヨンにまだ触ったことがないというお子さまが通ってこられます。ドラキッズで初めての体験をしたことがきっかけとなって、親子でさまざまな遊びを楽しんでいただけのようになるとうれしいですね。お子さまは『あそび』の中で好奇心がめばえ、自分ですべてに挑戦してみること『まなび』へとつながっていきます。おうちの方はそのプロセスを長い目で見守りながら、お子さまとの楽しい関わりを増やしていただけたらと願っています。



多くの体験が就学前の自信に

お うちの方とずっ
と一緒にいた1
〜2歳のお子さ
まには、「自分で選ぶ」とい
う経験をしてもらうため
に、ドラキッズでは「どの絵
カードがいい？」など、お子
さま自身の意思を尋ねるよ
うにしています。おうちの
方と離れるときには泣いて
しまっても、次第に「自分で
やろうー」という気持ちか
めばえ、意思表示ができる
ようになる様子を成長を感
じます。

4〜6歳のクラスでは、
お子さまが何かひとつ自信
をもてる分野を見つけれ
るようにしています。文字
や数のワークだけでなく、



ドラキッズ



自分の意思で選ぶ
「できたー」を
積み重ねることが
自信と好奇心を育む



イーコラボでは長
文の物語を読み、
その中に出てく
る表現を繰り返し使いなが
ら学びます。講師から「覚え
ておいで」と言うことはな
いのですが、子どもたちが
自主的に覚えてきてくれた
ときには、英語に対する強
い好奇心を実感します。



をお勧めしていることもあ
り、お母さまから「私も英語
で言えました！」と声をか
けていただいたこともあり
ます。お子さまの好奇心は、
ご家族の皆さんの好奇心も
刺激しているようです。

イーコラボ



「覚えておいで」と
言わなくても
自ら英語で語る姿に
好奇心を実感



先生たちが気づいた 好奇心のめばえ

保育園や教室で、子どもたちは好奇心を
どのような形で発揮しているのでしょうか。
日々、子どもと接している先生方だからこそ知っている
「好奇心がめばえた瞬間」について、教えていただきました。

子どもたちの
目が輝く瞬間って
本当に素敵です！



小学館 アカデミー 保育園



子ども同士の
話し合いを通じて
友だちのことも
興味をもてるように

乳

児クラスでは、生
活習慣について
一日の生活の流
れの中で、お子さま自身が
興味をもって身につけられ
るよう工夫しています。食
事の時には、先生が「手を洗
いましょう」と歌って呼び
かけることで、子どもたち
もその歌を歌いながら自然
と手洗いができるようにな
りました。

幼児クラスでは、何をし
て遊ぶかについては子ども
同士が意見を出し合い、先
生は話し合いを見守るよう
にしています。さらに、年
中と年長では、活動後に輪
になって「何が楽しかった
か」を順番に話す「サークル



タイム」があります。意見
を述べる機会を設けること
で、自分は何が好きなのか
を意識すると同時に、お
友だちの好きなことやよい
ところにも目が向くよう
なってきましたね。

